

みずほCustomer Desk Report 2018/09/14 号(As of 2018/09/13)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	111.20	1.1626	129.27	1.3049	0.7171
SYD-NY High	112.00	1.1701	130.94	1.3124	0.7229
SYD-NY Low	111.18	1.1609	129.26	1.3028	0.7166
NY 5:00 PM	111.92	1.1690	130.86	1.3106	0.7191
NY DOW	26,145.99	147.07	日本2年債	-0.1100	0.00bp
NASDAQ	8,013.71	59.48	日本10年債	0.1100	1.00bp
S&P	2,904.18	15.26	米国2年債	2.7586	0.84bp
日経平均	22,821.32	216.71	米国5年債	2.8749	1.37bp
TOPIX	1,710.02	18.70	米国10年債	2.9728	0.92bp
シカゴ日経先物	22,980.00	330.00	独10年債	0.4205	1.30bp
ロンドンFT	7,281.57	▲ 31.79	英10年債	1.5005	2.05bp
DAX	12,055.55	23.25	豪10年債	2.6060	2.05bp
ハンセン指数	27,014.49	669.45	USDJPY 1M Vol	6.48	▲0.08%
上海総合	2,686.58	30.47	USDJPY 3M Vol	7.29	▲0.04%
NY金	1,208.20	▲2.70	USDJPY 6M Vol	7.70	▲0.01%
WTI	68.59	▲1.78	USDJPY 1M 25RR	-0.71	Yen Call Over
CRB指数	191.41	▲1.95	EURJPY 3M Vol	8.85	▲0.13%
ドルインデックス	94.52	▲0.28	EURJPY 6M Vol	9.18	0.01%

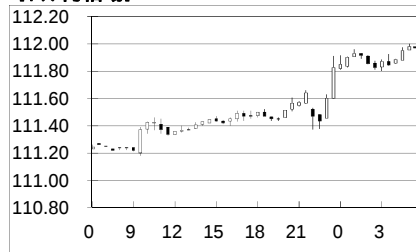
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
9月13日	20:00	トルコ	1週間レボレート	- 24.00% 21.00%
	20:00	英	BOE政策金利	- 0.750% 0.750%
	20:00	英	BOE資産購入目標	- £ 435b £ 435b
	20:45	欧	ECB主要政策金利	- 0.00%/0.25%/-0.40% 0.00%/0.25%/-0.40%
	21:30	欧	ドラギECB総裁会見「保有債の償還資金再投資の討議時期は未定」	
	21:30	米	CPI(前月比/前年比)	8月 0.2%/2.7% 0.3%/2.8%
	21:30	米	コアCPI(前月比/前年比)	8月 0.1%/2.2% 0.2%/2.4%

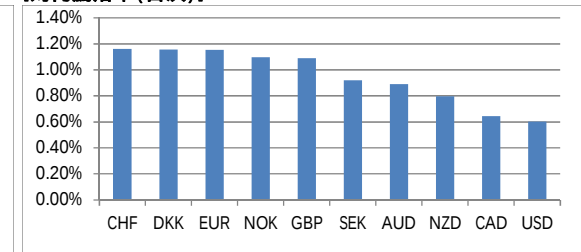
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
9月14日	11:00	中	小売売上高(前年比)	8月 8.8% 8.8%
	11:00	中	鉱工業生産(前年比)	8月 6.1% 6.0%
	21:30	米	小売売上高(前年比)	8月 0.4% 0.5%
	22:00	米	エバンズ・シカゴ連銀総裁講演	- -
	23:00	米	ローゼン格林・ボストン連銀総裁講演	- -
	23:00	米	ミシガン大消費者マインド	9月 96.6 96.2

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	111.50-112.50	1.1620-1.1750	129.50-132.00

【マーケットインプレッション】

昨日海外時間のドル円相場は上昇。米8月CPIが予想を下回り、一時ドル円は下落する場面もあったが、エルドアン大統領の利下げを求める発言がある中、トルコ中銀が予想以上となる政策金利引き上げを発表したことや堅調な米株式市場等を背景に、リスク志向が強まり、ドル円は8月1日以来となる112円をつけた。本日のドル円相場は、昨日の米国市場の流れを引き継ぎ、中国の経済指標等をこなしながら底堅い展開が続くそう。

東京	東京時間111.20レベルでスタートしたドル円は、米中貿易交渉再開への期待等から日経平均株価が上昇する展開を受け、堅調に推移。利益確定の売りなどに押される場面も見られたが、午後に入ってから日本株が底堅さを維持し、米金利が上昇する中、111.47まで確りと推移し、111.42レベルで海外市場へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は111.42レベルでオープン。ドル円固有の材料がない中小動き。トルコ中銀が市場予想を上回る6.25%の利上げ(予想3.00%)を実施するとリスクのの流れとなり111.60まで上昇。111.57レベルでNYに渡った。ユーロは1.1628レベルでオープン。ECB理事会の結果待ちの中で前日の上げをやや解消し一時1.1609に低下するが方向感なし。政策の据え置きが発表されるとドラギ総裁の会見を控え特に反応はなく1.1622レベルでNYに渡った。ポンドドルは1.3035レベルでオープン。英中銀の金融政策発表を待つ中で朝方は動意なし。結果は据え置きでインパクトは少なく、むしろトルコのニュースでリスク選好的にポンドにも買いが入り瞬間的に1.3073まで買われる。結局1.3048レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	ドル円は111.57レベルでNYオープン。朝方は米8月CPIが予想を下回り、ドル円は111.37まで下落する。その後は下落していた米金利が一旦下げ渋る展開や、英国がEUとブレグジットに関して主要な点で合意とのヘッドラインを受け、ポンド円が上昇する動きもにつられてじりじりと上昇し、111.96まで上昇。午後は米スティック・アトラグ連銀総裁(投票権有/中立派)の「引き続き今年は年3回(残りあと1回)の利上げを望む」との発言が伝わるものの、ドル円は狭いレンジでの推移が続き、終盤に掛けて112円ちょうどまで上昇し、111.92レベルでクローズした。一方、ユーロドルは1.1622レベルでNYオープン。朝方は、ECBが2018年と19年のGDP予想を下方修正し、ドラギ総裁の記者会見でも「かなりの金融政策による刺激が必要」「保護主義や新興国のリスク増が目立ってきた」等、カバ派とはいえない発言が続くが、米CPI結果を受けたドル売りが継続したことや、トルコ中銀の利上げを背景にしたリスク志向の強まりから、ユーロドルは1.1701まで上昇する。その後利益確定の売りに1.1668まで下押しするものの、インフレ鈍化を受け米株が堅調に推移する中、ユーロ円が上昇する展開に、ユーロドルも下値をサポートされ、1.1690レベルでクローズした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 菊池・森谷